

# かたの



R3.6.21  
形埜小学校  
校長室だより

## 南大須群生地へ

### チャンネルミクス

6月21日 18時～  
再放送

21日 18:45

22:00

22日 7:00～

9:00～

12:00～

12:45～

15:00～

### チャンネルおかざき

6月22日 19:30～



東海愛知新聞

2021年(令和3年)6月19日(土曜日)



ササユリを観察する児童＝岡崎市南大須町で

## ササユリを知って

岡崎 児童が観察会と交流会  
岡崎市内の各地でユリ的一种「ササユリ」の花が咲き誇っている。十八日には、岡崎市形埜小学校が南大須町にあるササユリの群生地「ササユリ遠足」・県立岡崎高等学校同市下山小学校の児童をリモートで「ササユリ交流」を行った。(高木駿太郎 大塚誠)

形埜小の「ササユリ」遠足では、三年生七人が「南大須ササユリ」の里自然ふれあい地区を訪れ、住民の有志で組織する「かたのササユリの里育成会」の狭野金剛会長と鈴木勝頼さんからササユリについて学んだ。鈴木顧問はササユリの名前の由来が竹笹の葉に似ていることや、めしべ・おしべの形、花の時数を説明し、今年は約千本が開花した。

岡崎高等学校の「ササユリ交流」では、小学部の児童十二人が下山小とオンラインで交流。下山小の児童がササユリの特徴などを紹介し「優しく触ってみて」と呼び掛けると、言葉の掛け合い、校内に届けられた花を触ったり、花の香をかいだりして「ほのかに花よかたい」「甘い匂い」などとコメント。感じに感想を伝えたり、矢野(こ)は「花は上品な香りがした。教室に大切に飾りたい」と笑顔を覗かせていた。



モニター越しに下山小の児童との交流を行う小学部の児童ら＝県立岡崎高等学校

先週金曜日は、3年生ササユリ遠足でした。私も同行し、一緒に学びました。行きは、週に1日運行の乙川バスに乗り、南大須公民館まで～そこから15分程歩いて、現地に到着です。この日は、不安定な天候の中、雨の降らなかった神がかり的なタイミングの遠足でした。花が咲き、お天気がよいということもあってか、「訪れる人の多さ」に驚きました。また、何より一面のササユリと紫陽花と田んぼの絵に描いたような景色を見ているだけで、優しい気持ちになります。～お弁当後の休憩時間に「一句作ってみよう」と声をかけたら、○さんの一句「ササユリの えんそくみん なで いきたいな」・実は、一人体調不良でお休みだったんです…。

愛がいっぱい「読み聞かせ」 17日(木)の給食後、PTA 図書部の方々に来ていただき、読み聞かせをしていただきました。役員の野澤さんに選んでいただいた紙芝居は、どの教室でも大好評でした。倉橋会長さんが様子を見て下さり、子どもたちの静かに聞き入る姿や一生懸命に感想を言おうとする姿を褒めていただきました。



黒板に、「おかあさん、がんばって！」とメッセージがありました。書いた◇君、嬉しそうに「学級通信にお母さんのことがのってた」と報告に来てくれました。「読み聞かせのこと？」と聞いたら、「うん」と笑顔でうなずきました。「お母さん上手だったよね！」と言ったら、「だって、おうちでずっと練習してたよ！」と教えてくれました。



この教室では、入室したら『お願いします！』の挨拶が、お子さんだったということで、感激のスタート！もちろん、「ありがとうございました」の挨拶も同様に。お母さんが練習されている時に一緒に練習したとのことでした。練習の姿を想像したら、思わず私も、笑顔になりました。



絶滅危惧のトキのお話でした。お話のあと、トキについて調べられたことをもとにクイズを出してくださいました。答えにみんなびっくりでした。一番、大きな声で驚かれたのが船越先生でしたが(笑)。最後、感想を求めたときは、□君スッと手を挙げて発表していました。お母さんも嬉しそうでした。



この写真は、6年生のお姉さんが、放課後の時間を使って、1年生の教室で読み聞かせをしている姿です。本の持ち方も様になっていくし、何よりも、間の取り方や落ち着いた読み方が絶妙で、1年生も聞き入っていました。